

令和2年度第6回宗像市介護保険運営協議会

期 日：令和3年2月4日（木）
時 間：午後6時30分～午後7時38分
会 場：宗像市役所 103A会議室
（北館1階）

<出席者>

【委員】

岡山委員【副会長】、小川委員、荻田委員、鴨川委員、坂元委員、渋谷委員、友添委員、中村委員、
林田委員、姫野委員、藤城委員、本郷委員、三宅委員【会長】、矢島委員、山崎委員 （五十音順）

【事務局】

衣笠保険医療担当部長、早川高齢者支援課長、恵谷福祉課長、西川健康課参事兼健康サポート係
長、山口高齢者支援課参事兼地域包括ケア推進係長、高宮高齢者支援課主幹兼地域包括ケア推進
係長、花田福祉課主幹兼保健福祉総務係長、副田高齢者支援課高齢者サービス係長、佐藤介護認
定係長、安川審査指導係長、西村介護保険係長、椎葉介護保険係主任主事

<会議次第>

1 開会

2 会長挨拶

3 議題

（1）報告事項

○第8期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画案パブリック・コメントの
実施結果について【資料1】

（2）審議事項

○第8期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案）答申について【資料2】

（3）その他

4 閉会

1 開会

【事務局】

定刻より二、三分早くなっておりますけれども、委員の皆様お揃いいただいておりますので、早速始めさせていただきたいと思っております。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。本日の司会を担当させていただきます介護保険課の安川でございます。よろしくお願いいたします。

まず、資料の確認からでございますが、事前に配付させていただいております資料 1、それから資料 2 と、あと事業計画書案がございます。それと、本日、机に配付させていただいております資料が三種類ございまして、第 8 期介護保険料資料（当日配付資料）というものと、計画（案）差し替え分、それから、介護用品給付サービス事業の給付要件等の変更予定内容についてという資料、3 点ございます。お手元でございますでしょうか。よろしいですかね。

なお、第 8 期介護保険料の当日配付資料につきましては、介護保険条例の議決事項でございまして、本日、審議終了後は回収させていただきますので、よろしくお願いいたします。お帰りの際には机の上に置いてお帰りいただければと思っております。よろしくお願いいたします。

また、本日は、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、換気のため、窓を開けさせていただいておりますのでご了承のほどお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思っております。

1.開会でございます。本日は、全員出席でございます。したがって、委員の過半数以上のご出席をいただいておりますので、宗像市介護保険運営協議会規則第 5 条第 3 項により、会議が成立していることをご報告いたします。

それでは、令和 2 年度第 6 回宗像市介護保険運営協議会を開会いたします。

次に、議事録署名委員の選任でございます。議事録署名委員は名簿順によりまして、藤城委員となっております。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして 2.会長挨拶 三宅会長お願いいたします。

2 会長挨拶

【会長】

皆さん、こんばんは。本日は、寒い中、またコロナ禍の中、出席くださりましてありがとうございます。8 期の計画もいよいよ大詰めといったところですが、また今日も忌憚ないご意見等、スピーディーな審議を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

3 議題

（1）報告事項

【会長】

今回の運営協議会では、報告事項が事前配付の 1 件に追加が 1 件ありまして、合計 2 件になっております。それからご審議いただきたい事項が 1 件ということになっております。それでは、まず、最初の報告事項、前回報告があった紙おむつの給付事業について、事務局から結果報告をよろしくお願いいたします。

【事務局】

・介護用品給付サービス事業の給付要検討の変更予定内容について（当日配布資料）

<事務局説明>

【会長】

はい、ありがとうございます。

引き続きましてパブリック・コメントの実施結果について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

・第 8 期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画パブリック・コメントの実施結果について（資料 1）

<事務局説明>

【会長】

はい、ありがとうございます。これにつきまして、何かご意見等ございますでしょうか。

【委員】

ここに目標値と上げておりますのは何かと言いますと、今後は新たな形、いわゆるスポーツとか何とかという、いわゆる老人クラブがまとまって行事をするというよりも、各会員の皆さん個人が健康づくりをするという形の中で健康寿命を延ばすというほうにウエイトを置いて今後やっていくということで、少し見解を変えております。そういう意味で各地区での行事が今進められておりますので、こういう形で目標を設定しております。

要するに、老人クラブ自体が今までと変わったというか、いわゆる個人の皆さんに納得していただくというか、健康づくりについて、健康寿命を延ばすという流れの中でいろんな形の教室をつくっていききたいなということで、見込みというか、こういう目標でいけるんじゃないかなと考えております。

それから、この点につきましては、同じようにシルバー人材センターが次にありますけれども、こちらのほうも同じような形の会員数というか目標値みたいなものも掲載ができれば、市民の皆さんにもわかりやすいのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。というのが、老人クラブとシルバー人材センターとはよくお付き合いというか、いろんな意味で協力し合っておりますけれども、シルバー人材センターの事業が、やはり同じような目標値も必要じゃないかなと考えておりますので、いかがなものでしょうか。

【会長】

はい、どうぞ。

【事務局】

今回、事務局でもシニアクラブを追加する際に、同じページにありますシルバー人材センターのことも想定をさせていただきましたので、資料を準備させていただいております。当日配付資料の中にA4縦長の表で、左上に基本目標3という資料が入っていると思いますが、皆さん、おわかりになりますでしょうか。今回追加予定のシルバー人材センターの会員数の実績と目標値についてご説明をさせていただきます。シルバー人材センターに入会している会員数を、先ほどのシニアクラブ同様に、令和2年度までの実績見込みと令和3年度から令和5年度までの目標値を追加させていただくものでございます。令和2年度までの人数につきましては、記載をさせていただいているとおりでございます。令和3年度から令和5年度までにつきましては、次年度計画を協議する2月16日のシルバー人材センターの理事会で協議確認するようになっております。このため、2月16日理事会確認後にしか数値を入れ込めませんので、大変申し訳ございませんが、本日配付資料に記載のとおり、理事会確認後に記載ということでご承認をいただければと考えております。よろしく願いいたします。なお、会員数につきましては、平成29年度以降減少傾向であったところに、今回の新型コロナウイルスの関係が重なっております。シルバー人材センターでは、令和3年度以降に、就業先の開拓と会員数増のために新たに職員を雇用して取り組む予定がございますので、その分を考慮した目標数値となるということをシルバー人材センターと協議をしております。数字につきましては16日の理事会後になりますけれども、その分でご審議をよろしく願いいたします。以上でございます。

【会長】

はい。ありがとうございます。減っていく見込みのところを、あえて前向きに増やしていこうという目標かと思えますけれども、この件につきまして何かご意見はございませんでしょうか。特にご意見がないようでありましたら、今の方針でやっていくということに決定いたします。

それでは、今の報告事項全般を通して何かご意見、ご質問のございます方いらっしゃいますでしょうか。ないようでありましたら、審議事項に移らせていただきます。

(2) 審議事項

それでは(2)審議事項について、第8期宗像市高齢者福祉計画介護保険事業計画(案)答申(案)について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

・第8期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案）答申について（資料2）

・第8期介護保険料資料（当日配布資料）

＜事務局説明＞

【会長】

はいありがとうございます。ただいまの説明につきまして何かご質問、ご意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

【委員】

1点、数値の確認ですが、差し替え分で結構かと思うんですが、103ページ、この103ページの中の地域密着型サービスの第1行目、定期巡回云々というところ、これが第8期の見込みで、令和3年、4年が240万、5年になると8倍の1,900万、この増加の要因というのが本文の中身でもちょっと理解できなかったの、ここの要因をご説明いただけたらありがたいんですが。

【会長】

はい、どうぞ。

【事務局】

ご質問をいただきました計画（案）103ページの地域密着型サービス、定期巡回随時対応型訪問介護・看護の令和5年度の数値についてご説明をさせていただきます。

計画書につきましては97ページをご覧くださいでしょうか。(4)地域密着型サービスの充実といたしまして、①定期巡回随時対応型訪問介護・看護サービスについて記述をさせていただいております。この部分につきましては、施設整備計画にも関連してきますが、この定期巡回随時対応型のサービスにつきましては、現在、宗像市内に事業所がございません。ですが、このサービスにつきましては拡充が求められておりまして、その整備を第8期において実施していければと考えているところです。令和3年度から公募の準備を進めていきまして、応募していただいて、本格稼働し、軌道に乗るのが令和5年度ではないかと思込んでいるところです。その兼ね合いがありまして、令和5年度でまず、ここの97ページでお示ししています利用者数が増加する計画として、今回、第8期計画を策定させていただいております。ちなみに、このサービスにつきましては、定員30人のサービスを実施する整備として計画をしているところですが、この30人が令和5年度増となるところを受けまして、給付費サービスに係る費用についても、5年度から、この30人分を追加したところで見込んでいくこととなります。その数字が、今回103ページに出てくる数字となっていきます。以上でございます。

【委員】

はい、わかりました。ありがとうございます。

【会長】

はい。ありがとうございます。ほかにはございませんでしょうか。はい、どうぞ。

【委員】

第8期介護保険料資料（当日配布資料）の介護事業費の推移の表なんですが、介護保険事業費が、前年と予算がかなり減っているんですけど、それはちゃんと調べた結果でなったと思うんですけど、単純に思って、どんどん要介護者は増えるんじゃないかと思ってたんですが、下がっているっていうのはちょっと簡単には説明できないと思うんですけど、もし説明できたらお願いしたいと。

【会長】

はい、お願いします。

【事務局】

ご質問いただいたのは、横長のグラフの中で青い棒グラフについて、令和3年度、4年度、5年度のこの計画値が、平成30年、令和元年、令和2年と比較すると少ない数字になっているところのご指摘かと思います。この点につきましては、令和2年度の実績を元に、自然体推計をベースとして計画値として設定をさせていただいているところがございます。令和2年度の実績見込みとなる、高齢者数、被保険者数の伸び等を勘案しまして、計画のベースとなる推計値としてつくっていったものが、まず一つございます。ですので、第7期、平成30年、令和

元年、令和 2 年の計画値として出てきている青の棒グラフの数字からいくと、だいぶ下がってきているというのは、令和 2 年度の実績見込みを元に推計を始めているから、という理由が一つございます。あわせて、実際には、給付費については、今後この先 3 年間については、やはり各年度伸びていくだろうというところは思っているところでございます。その中で、今回この資料の中にはお示しはしてないんですけども、その認定者数ですとか、あと認定率ですね、実際に 65 歳以上の方の第 1 号被保険者に該当する人数は伸びていくのは確かですが、その伸び方よりも、実際に認定を受ける方の人数ですとか、認定率そのものが伸びていかないというのが、第 7 期の 3 年間のうちに出てきている状況があります。なので、介護給付としてサービスを利用していく推計としましては、前回の第 7 期で推計したところよりもだいぶ抑えられてくるのではないかとこのところがあります。この二つを主な要因としまして、今回、第 8 期の令和 3 年度、4 年度、5 年度の計画値については設定をさせていただいたところです。なので、こういった形で計画値につきましては、令和 2 年度の実績がスタートになってきているため、このような見え方になってくるとお考えいただければと思います。以上でございます。

【会長】

はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。

【委員】

81 ページの質問でもよろしいでしょうか。81 ページの介護サービスの充実ですが、介護サービスとか、例えば特別養護老人ホームとかヘルパーさんとかを使う、それを受けてみて対価としてどうなのか。実際、要介護認定を受けてない人の調査で、31.8%がわからないということですね。つまり、介護保険制度の維持とサービスの充実が求められているという根拠になるデータのところなんですけど、これはわからないが 31.8%ということと、あと、現状の程度で良いとか、保険料も介護サービスを受けていない層が中心の要介護 1 から 5 を除いている人たちがそう考えているのであれば、実際サービスを受けている人もしくは介護をお世話している人たちのこの集計を出すとかですね、そこら辺を、ちょっと今後は課題なのかと。つまり、実際に自分が医療と介護サービスを受けて対価を払って、それでどうなのかというのをユーザーに聞かないとわからないんじゃないかということが 1 点です。

2 点目が、わからない 31.8%のところはですね、26 ページの (6) のアンケート調査結果から見える課題の 1 点目なんですけど、制度の周知ですね、ここの根拠に入るのではないかと。つまり、その根拠と課題の関係なんですけど、わからないが 31%、その下も合わせると結構な、4 割近くいくので、そうなるちょっと無視できない割合かなというふうに考えますので、もし、わからない制度の数値であればですね、わからないから介護サービスを利用してない層の、わからないというのをわかるようにしていくところと、あと、可能であれば、地域ごとの集計を出して、どこの地域は介護情報が行っていないのかを把握して、そこを重点的にサポートするとか、そういうところは今後いかがでしょうかということでございます。すみません、ちょっと気になったので。以上でございます。

【会長】

この件について、事務局、何かご発言ありますか。はい、どうぞ。

【事務局】

貴重なご意見ありがとうございます。今後の課題ということでご意見をいただいたところとなりますので、この部分につきましては、現計画の修正等は、この第 8 期での対応、計画書への盛り込みというのは難しい状況かとは思いますが、いただいたご意見、ユーザーに聞いてみるですとか、あるいは地域ごとのクロス集計をして分析をしてみるということにつきましては、今後の市の施策をより深めていく中で見ていければと考えております。

【委員】

よろしいですか。結局、介護難民とかひとり暮らし単身世帯の高齢者と、ニーズがあってもなかなか届かないし、理解しづらいので、もし可能であれば、この計画という意味ではなくて、そういう数字がせつかく出たのであれば、本当にその必要な人たちで必要な情報が届きにくい地域を把握して、このデータが使えるのではないかとこのことでご提案でございます。以上です。

【会長】

はい、ありがとうございました。ほかにございませんでしょうか。はい、どうぞ。

【委員】

2点お願いいたします。1点目ですが、介護用品給付サービス事業の給付要件の変更になるんですが、これは一部の利用者さんに関して不利益を伴うことになるかもしれませんので、この運営協議会で何も意見が出ないというのは市民の方に申し訳ないパターンですので一言と思ったんですが。近隣の市町村を見ても、もっと厳しい措置をしている中で、宗像市さんはきちんと金額もあるし、国からの通知条件に関しても、非常にぎりぎりのところで利用者さんに寄り添った内容になっているかと思えます。こういった内容であれば、私のほうも、利用者に対して、こういったことがあるけども、宗像市さんはきちんと市民に寄り添って考えくださっているということ自信を持って言えると思えますので、非常にありがたい内容じゃなかろうかなと思っております。

2点目ですが、97ページの地域密着型サービスが、令和4年から令和5年に対して上がっている内容が、以前、令和2年12月の議論の中での表では変わらずになっておりましたので、これがちょっと増えた理由を教えてくださいなと思って申し上げました。よろしくお願ひいたします。

【事務局】

確かに、昨年度まで、この計画案としてつくっていく中では、ここの推計値等につきましては、まだその当時の見込みで、そこまで反映させてない資料としてご提示をさせていただいております。今回、最終的に保険料の推計をしていくに当たって、改めてここの利用者数の推計、あと見込み等についても、正確な数字を入れさせていただいたところがございます。経緯としては、以上となります。

【事務局】

はい、ありがとうございます。ほかはよろしいでしょうか。この後は、もう答申の承認ということになってきますが、よろしいですかね。

それでは、反対意見等ないようでありましたら答申が承認されることとなりますが、改めて承認していただける委員さんにおかれましては挙手をお願いします。

(賛成者全員挙手)

【事務局】

はい、ありがとうございます。これで、この答申が承認されたということになります。

これまでに至る長い経緯の中でいろんな貴重なご意見を賜りまして、立派な答申ができたかなというふうに私も考えておりました、会長としてお礼申し上げます。ありがとうございました。

承認をいただきましたので、早速市長への答申ということになりますけども、これは会長に一任していただければと思っておりますが、よろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【会長】

はい。ありがとうございます。それでは早速、答申に行くことになろうかと思えます。ありがとうございます。それでは、(3)その他に移ります。事務局から何かありますでしょうか。

(3) その他

【事務局】

今、会長のほうからお話がございました答申につきまして、ご報告いたします。答申については、事前に市長のスケジュールのほうを確認しております、早速ですが、明日2月5日の午後、会長から市長に対して答申をしていただく予定となっておりますのでご報告いたします。

それでは、保険医療担当部長の衣笠より、委員の皆様へ御礼を申し上げたいと思えます。

【事務局】

皆様、改めましてこんばんは。保険医療担当部長の衣笠でございます。

第8期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(案)の策定におきましては、会長、副会

長をはじめに委員の皆様には、長期間並びに多くの回数にわたりまして熱心にご審議いただきましてありがとうございました。委員の皆様のおかげをもちまして、令和 3 年度から 3 年間にわたります本事業計画（案）を無事に策定することができました。心より感謝申し上げます。

先ほど事務局が説明いたしましたとおり、明日、三宅会長から市長に答申をいただきまして、その後、庁議等を経て正式に決定させていただきます。三宅会長、お忙しい中恐縮ですが、よろしく願い申し上げます。委員の皆様、本当にありがとうございました。

【会長】

はい、ありがとうございました。ほかになれば、これにて閉会といたします。よろしいでしょうか。はい。本日はお疲れさまでございました。ありがとうございます。

委員 _____

委員 _____